

## 株式会社 松屋 2018年10月上報告

## 1. 店舗別 売上高概況 (単位:%)

	売上高	入店客数
① 銀座本店	4.2	3.7
② 銀座店	4.4	4.0
③ 浅草店	2.7	3.2

① 銀座本店 : 「銀座本店」の数値は「銀座店」と「浅草店」両店計の売上高対前年増減率を表記いたしております。  
 ② 銀座店 : 「銀座店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。  
 ③ 浅草店 : 「浅草店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。

## 2. 売上高対前年増減率推移

(単位:%)

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
銀座本店	11.4	2.9	1.3	12.3	5.3	9.0	9.4	17.7	-1.9	6.9	2.0	4.2
松屋銀座	12.3	3.1	1.4	13.1	5.3	11.2	10.4	19.7	-1.6	7.4	2.0	4.4
松屋浅草	1.8	0.5	0.3	-0.2	4.7	-17.0	-2.4	-2.7	-5.6	0.7	1.3	2.7

## 3. 店舗別商況

銀座店	銀座店は、キャリアゾーンの婦人衣料品において、秋物実需期の主力アイテム(ニット・ジャケット等)の不調があり売上が伸び悩みましたが、素材や製法等に特化した高価格帯・ラグジュアリーゾーンでコート等アイテムが好調に付き、婦人衣料品全体の売上高は前年を上回りました。一方、免税売上高につきましては、化粧品に代表される自家需要商材に買上動向が大きくシフトし全体を牽引するも、売上高はほぼ前年並みにとどまりました。また、免税売上高を除いた国内のお客様につきましては、8月末にリニューアルした和洋菓子売場の好調等に加え、話題性のある文化催事の開催等も加勢し、入店客数(前年比4%増)は前年を越え、売上高も前年比で5.8%増となり堅調に推移しました。なお、銀座店全体の売上高は、前年との曜日廻り差異(日曜日1日減、その影響度合いは約1.2%減)はあったものの、3ヶ月連続で前年を上回りました。
浅草店	浅草店は、化粧品が2桁以上の売上増、婦人衣料品、食品部門も好調に付き、店全体の売上高も3ヶ月連続で前年を上回りました。

## 4. 商品別売上高対前年増減率

(単位:%)

	銀座本店	松屋銀座
紳士服・洋品	-7.4	-7.4
婦人服・洋品	1.8	2.1
子供服・洋品	-9.4	-9.4
呉服寝具他	1.4	1.4
衣料品計	-0.8	-0.7
身廻り品	-2.8	-2.8
雑貨	10.6	9.9
家具	5.6	5.3
家電	-22.6	-21.9
家庭用品	-13.6	-12.3
家庭用品計	-3.0	-2.6
食料品	2.8	2.5
食堂・喫茶	-0.3	-0.3
サービス、その他	194.9	218.2
合計	4.2	4.4

## 商品別概況(銀座店)

\*雑貨は、引き続き化粧品が全体を牽引し、売上高は大幅に前年を上回りました。

※「11月上速報」は、12/3(月)15時の開示を予定しております。

お問い合わせ先 株式会社 松屋 総務部 IR室  
 TEL(03)3248-8311 / FAX(03)5550-9639